

# 筆山

第11号 / 1990. 12

土佐中・高同窓会 関東支部会報

〒112 東京都文京区水道1-10-7 同学社気付 ☎03-816-7011 / FAX03-816-7044 編集人 / 戸田博之(38回)



▲全校生徒の体操(朝礼時)

昭和13年ごろの写真と思います。

2代目青木勲校長の時代。支那事変が進み、出征兵士の見送りや戦勝祝賀の提灯行列に在校生がかり出されていたころです。

(写真提供=16回生・曾和純一)



剣道の稽古(道場)  
剣道・柔道・弓道みな  
一通り教えられた。▼

母校創立七十周年に当たって

中国の古典「管子」の中の一節に「一年之計、莫如樹穀。十年之計、莫如樹木。終身之計、莫如樹人。」一年の計は、穀を樹(う)うるに如(し)くは莫(な)し。十年の計は、木を樹うるに如くは莫し。終身の計は、人を樹うるに如くは莫し。一年の計画をたてるとしたら、その年内に収穫のある穀物を植えるのがよい。十年の計画をたてるというなら、木を植えるのがよい。一生涯の計画をたてるつもりなら、人材を養成することだ。(諸橋轍次著「中国古典名言辞典」より)

この言葉は、教育は国家百年の大計の源流であることを示していると思われる。ここに母校の創立七十周年を迎えるに当たって、開校記念碑文(大町桂月撰)を読み返して、建学の精神にたちかえり、母校の新しい門出を期待したいものである。

# 土佐中・高時代の思い出

我が母校『土佐中・高』は、この11月に創立70周年をむかえました。そこで編集局では「70周年に思う」という題で、原稿をお願いしました。もしかすると、「この停滞ぶりは、どういうことぜよ！もう、わしの母校などとは思えない！」等という過激な苦言が飛び出すのではと心配（期待）しましたが、さすが良識ある諸兄姉、母校愛に溢れた『思い出』を送って下さいました。

## 岡村甫氏（32回）

### が記念講演

#### 盛大に祝賀会開く

母校の創立七〇周年を祝う記念式典が、十一月十七日、母校講堂で開かれ、関係者多

数が出席した。

記念講演では、三三回生の岡村甫氏（東大教授）が、「夢」と題して、中三以上の在校生と父兄を前に講演した。午後六時から市内の三翠園ホテルで祝賀会が開かれ、飲むほどに、酔うほどに七〇年の歴史を語る声はいよいよ熱気をおびた。

## 創立期 俊英集いて

### ●5回 三木 常緑

用あつて同窓会名簿を開く度に暗い気持ちになる。殊に一回生から六回生くらいまでは氏名の右側の欄にずらりと逝去の文字が並んでいる。学歴は皆申し分ないが、少し短命すぎる。之は我々年代の者が成長した時代と郷土の環境のせいである。私達のクラスなど結核による死亡が多い。

当時高知県は有数の結核県であり、結核は不治の病であった。身体が弱かったから肺病になったというのは強弁である。

私のクラスには秀才が多かった。殊に印象に残っているのは、級友二十数名と高知高校に入学した年、級長、副級

長十名のうち九名まで土佐中の出身者が選ばれた事だった。又、秋山一雄が新入生を代表して答辞を読んだので驚いた。平素寡黙で目立たなかったから彼の實力を知らなかったのだ。

高知高校を出て五人も京大の医学部に入ったが、学生、副手として医学部に在籍中の彼等と稀にしか会えなかったが、それぞれ希望にみちて勉強していた姿が今でも目に浮かぶ。勿論、大東亜戦争の始まる大分前の事である。他の同級生についても当時の若い姿と行動を克明に語る事が出来る。個性の強い者が多かった。

## 戦時期 飢餓の中で

### ●20回 下谷 泉

アナクロと笑い召さるな。今となつては無形文化財的な戦前派の学校体験。

『飢餓感』……何しろ食いざかり、遊びざかりを、あの格子無き牢獄に閉じ込めたのだ。映画館ダメ、うどん屋ダメ。夜更け、寄宿舎の塀を越えて手に入れたヤキモチのあの美味しさ。

『青年宿的生活』……愛情溢れるシゴキの伝承文化。キモダメシも結構怖かった。かくして先輩のイメージは永く確立される。

『個性的師弟関係』……お年を召した方が多かったせいもあり、先生一人に生徒八人くらいの比率とも相まって、いたって家庭的。今でも親愛の情をこめて先生の渾名が口に出る。

どうやらスパルタ教育を筆山風に蒸し直したのが、わが母校の隠し味のようなのである。年に一度高知、大阪、東京のどこかでクラスが顔を会わせるのが慣わしだが、少人数でもあるし、いたってゲマインシャフトである。



## 復興期 さまよえる子羊たち

## ●30回 久武 慶蔵

土佐高で教わった知識は三十年以上たった今、殆ど残ってはいませんが、これは多分「消化」した為そのままの形としては残ってはいないからでしょう。毎日の食物が二、三日胃の中に残っていたら胃病であります。多少まわりから疑念をもたれていた私の脳が健全であることを確認して安堵しています。

しかし一抹の不安もないわけではありません。当時、国語の小松先生に病欠の学友の見舞いに行くと告げると「やめちよき、どっちが見舞われるかわらんきに」と、持病持ちの顔色の悪かった私をパドキシカルな方法で激励？して下さり、気持ちの上で自分の病気をからかう余裕を得た事や、先生のその時の御表情までしっかりと脳に「消化」せずに残っているからです。

今度、小松先生にお会いし、先生の脳が病に犯され私をそのままの形で「消化」せずに記憶されておられたらきつと、「ありやまだ生きちよったかね、なかなか死なんもんじやのう！」

## ●30回 梶田 廣人

在学中の思い出は楽しいものもあるが、辛いものの方がずっと多い。とりわけ昭和二七年は最悪でした。三月（中三）に甲状腺癌の摘出手術で一月程入院した。八月十日、父親を胃癌で亡くし、一日おいて親友のTを日本脳炎で失った。学業を続ける事に激しい不安を感じて卒業後の進路も定められず退学する事も真剣に考えた。毎日が迷いの連続であった。

翌年夏、野球部が甲子園で準優勝し、炎天下の校庭で歓迎会が開かれた。その席上、出席者の一人が浪曲を披露した。甲子園の試合経過を浪曲で語る訳である。居並ぶ先生方も選手諸君も大いに当惑気味であったが、聞いている内に段々可笑しく、ようやく終った頃には腹を抱えて笑ってしまった。暫く笑い続けたが、気が付くと前年来のモヤモヤがすっかり晴れてしまった。将来の事などどうでもよく、唯々残された一年半の高校生活に全力を傾ける気持ちが出た。炎天下の浪曲のお陰である。



## ●35回 小松勢津子

中学に入学した頃から、私には年に一度肺炎にかかる癖があった。肺炎なのだから、当然三九度前後の高熱が出る。でも、どうしても学校に行きたい私は、盛大に薬を飲み、医者だった祖父にベニシリンやマイシンの注射をジャンジャンという感じで打ってもらって（まだベニシリンシヨックという言葉のない時代だった）、夜には九度あった熱を翌朝には強引に七度に下げて登校した。帰宅するとやはり熱は九度に上がっている。そ

## ●45回 笠 幸介

高二の学年末に物理のテストを白紙で出した事がある。示し合わせたわけではないが、同級のA君も同じ事をしたらしい。旧制高校の気風に憧れ、深い考えもなくやったものと思う。不思議なことに学校からは何のお咎めもなく、無事進級・卒業した。

ところが、その後何年か経って、A君から思いがけない話を聞かされた。彼の父上が、知人の土佐高の先生から白紙テストの件を聞き、息子に願

れをまた薬と注射で無理やり下げて翌朝には登校する。こんな事を繰り返すうちに一週間くらいで治ってしまうのだ。したが、とにかく学校を休むと楽しい事を見逃してしまうようで、嫌だった。

近年、土佐校はどうあるべきかが問われているようだが、『行くのが楽しい学校』が原点ではなからうか。そして、それには知的に、精神的に、感覚的に生徒を刺激してやまない教師と友人の存在が不可欠であろう。

末を話したのである。

「生意気な生徒を懲らしめるために、留年させるべきだ」という意見が学校の会議で持ち上がったというのである。クラス担任の藤田喜三郎先生は反対された。強硬派の先生の自宅にまで足を運び、粘り強く説得に努めてくださった。そうだ。知らぬ事とはいえず、大変なご迷惑をおかけしたものだ。しかし、先生はこの件を現在に至るまで一度も話題にされたことがない。

## 副幹事長に壺坂さん(28回)

## 学年幹事会で選出

学年幹事会が十月六日、霞が関ビルの東海大学交友会館で開かれ、五二名が参加。副幹事長の定員を二名から三名に増員する規約改正案を可決し、二八回生の壺坂颯子さんが選出されました。

会は宮地支部長の挨拶のあと溝淵副幹事長を議長に、活動報告、会計報告を承認、新年総会、筆山、支部名簿作成等について話し合いました。

## 新年総会は

1月12日(土)

新年総会は来年一月十二日(土)に、大手町のサンケイホールで午後三時から開かれます。母校からは松浦校長先生、西峰先生をお招きする予定です。

また「アルプス席の全力疾走」の著者清谷知郎さん(五二回)も名古屋から出席して下さる予定です。多数の同窓の参加をお待ちしています。

◇ 関西支部総会—1月26日(土)午後5時より、新阪急ホテル。

## ●年会費納入千人超す

平成二年の年間会費納入者は九月末現在で一〇三一名となり、初めて千人の舞台を突破しました。ご協力有難うございました。

## 高校野球シンポジウム

高校野球の正しいあり方と発展をさぐるシンポジウムが十月二十八日、金沢市の石川県立泉ヶ丘高校で開かれ、パネラーとして母校監督の籠尾良雄先生が出席。

## 東大主将に藤沢君

二百勝まであと一勝と迫っている東大野球部主将に藤沢章雄君(三年・61回生)が決まった。

## 『小さなYOKOの大旅行』

浅井陽子著

アメリカ留学中の二十一歳の女子大生の一人旅。根底に流れる人間愛がこの旅行記の本質だろう。著者は三〇回浅井伴泰氏の次女。

B6判・定価八〇〇円・講談社出版サービスセンター。

## お悔やみ申し上げます

島野 広さん(1回) 9・17  
横溝伝男さん(4回) 8・13  
北村正志さん(22回) 8・27

## 北村正志を偲びて

最愛の妻をとりて幾日も過ぎゆくかざるに

## 急ぎ行く君

八回 安芸 勉(秋風)

◇今期は悲報があいつぎましたが、六月に結婚したばかりの55回生畠田(旧姓金沢)由里さんのご主人が、会社の実験中の事故で亡くなられたのは余りにもかわいそうでした。新婚二カ月のこと、ただただ絶句。少しずつ立ち直りつつある彼女をどうかはげましてやって下さい。

## ●名簿チーム若手委員募集

関東同窓会は個人データをMS-DOS形式のデータベースにまとめ、簡易ソフト「CARD3」を使って名簿の追加、訂正などの更新を行なっています。これを基に単に名簿管理、タックシールの打ち出しのみならず、会費納入その他、統計処理などコンピュータによる

## すきま風

◇「よさこい鳴子踊りでモダンな踊りを披露したこともある高知市の内山時江モダンバレエ研究所が十月八日、赤坂の草月ホールで文化庁・芸術祭参加舞踊公演「死の寓話」発表会を開いた。

◇このメンバー九人の中に選ばれたのが、五一回の立石美智子さんと、中二在学中の永橋由三子さんの二人。立石さんはこの道三十年のベテランらしい美しい舞踊を披露。◇一方、永橋さんは三歳からのキャリアをいかしてお姉さんたちに負けないハッスルぶり。「よさこいより緊張しました」と目をクリクリさせて芸術の秋に汗びっしょり。

事務処理の簡素化を考えています。dBASE3, multiplan, Lotus 123...等、パソコンソフトを多少いじった程度の経験で十分です。若手の中で関心のある方、このボランティアを引き受けてやろうという意欲のある方、ぜひご連絡下さい。連絡先：事務局(03-816-7011)

## 相続税対策と資産活用コンサルタント

## 向陽ファイナンシャルプランニング

代表 中田 庸穂  
(28回生)

〒103 東京都中央区日本橋小伝馬町2-3 川島ビル7F  
TEL 03 (663) 4235 FAX 03 (663) 4938

## 株式会社 三菱総合研究所

常務取締役 森 健  
(23回生)

〒100 千代田区大手町2-3-6  
電話 03-270-9211(代表)

## シカゴからの手紙

武田 倫生 (33回・日本貨物航空)



左から恵律句君、クレア夫人、武田氏  
1990年 9月30日 (自宅前にて)

## エアメール

編集局では新編集長のもとで紙面の「国際化」を目指していましたが、この度、宮川さん(33回)がわざわざ渡米して原稿依頼の労をとって下さり、この欄が生まれました。今後とも海外在住の同窓生の寄稿をお待ちしております。また、ご存知の同窓生がいらっしゃいましたらご紹介下さい。

世界一忙しい国際空港であるシカゴ・オヘア空港で働きはじめて約二十年になる。アメリカから日本、東南アジアに向けて輸出貨物を航空機で運ぶ仕事をしている。

70年から80年代の前半までは日本から輸入される貨物で貨物専用機は満杯で飛んで来ていたが、円とドルの交換レートが百五十円を切り出した頃から、アメリカからの日本向け輸出も大きく伸び始め、現在その比率は五分五分のところまできている。

シカゴから東京に向けて飛んでいく貨物機にはコンピューターや医療器具のような附加值の高い物から生きた牛や豚など様々である。日本の輸

入業者(商社)はアメリカから買う品物は非常に少ないところばす。しかしシカゴを中心とした中西部から絶えず日本に向けて航空貨物として出る物がある。それは薬の原材料である。イリノイ、インディアナ、ミシガン州はアメリカ三大自動車メーカー地として有名であるが、大手薬品製造会社があるが、五社も集まっている。14時間でシカゴから成田まで飛ぶボーイング747貨物機のスピードは原材料の品質維持には欠くべからざる要素である。

五機保有するが、92年末には七機になる予定である。因にこの飛行機には百トン搭載することが出来、上部デッキには八席のファーストクラス座席があり、社員や貨物アテンダントが利用する。スチュワードはいいないが、自分の好きな時に食事や睡眠を取ることが出来るので、最も楽に旅行出来る。

次第。英語の世界に永くいると言葉の発想と行動が英語式になって来る。アメリカ従業員が多い我が社も日本的サービスセールスツールとするが、アメリカ人とのコミュニケーションが最も大事なファクターになってくる。ヨーロッパ人と比較すれば、はるかにネアカで良く仕事をするアメリカ人との仕事は楽しい。今まで小生を訪れた同窓生は32回生の溝淵真清、33回の島田裕之、島内浩喬、武田仁良、そして宮川洋治の諸氏。『筆山』を初めて手にしたのは、この六月USオープン開催中に訪問してきた宮川氏によつてである。第八号から十号までを大切に保管して時折再読している。

シカゴの冬は北海道以上に寒いといわれるが、ドライな気候なのでそんなに苦にはならない。訪問に最適な時期は五月から九月である。オヘア空港に降りた際には是非電話されたし。

Michio Takeda

214 N. Ridge Avenue

Arlington Heights

IL 60004 U.S.A.

TEL 708-394-0338(HOME)

708-350-2900(WORK)

お望みの温度を創造する

三菱重工業・特約店

N

株式会社

ナカムラ

中村 一典 (36回生)

横浜市旭区さちが丘184  
(045)365-1521

不動産の総合商社

貴方の住まいのパートナー

栄光商事

〒169 東京都新宿区百人町1-18-4  
TEL 03 (361) 8026 FAX 03 (361) 8280  
全国宅建物取引業保証協会会員  
東京都宅建物取引業協会会員

代表取締役 森沢俊策 (33回生)

## 女子学生会館 国分寺女子ハイツ

東京都 国分寺市 木町 4-12-19

TEL 0423-25-4182

FAX 0423-21-9884

全室個室 137室 ユニットバス付 専用食堂あり

館長 島内 淳 (16回生)

同学社版・新修ドイツ語辞典刊行

## 株式会社 同 学 社

取締役  
社長 近藤 久寿治

(6回生)

東京都文京区水道 1-10-7

電話(03)816-7011 (〒112)

## 放送大学学園

理事長 宮地 貫一 (21回生)

本部 千葉市若葉 2丁目11番地

〒260 電話 (0472) 76-5111 (代表)

連絡所 東京都港区虎ノ門1丁目14-1

〒105 郵政互助会 琴平ビル 4階

電話 (03) 502-2770 (代表)

浄水場・下水処理諸施設の運転・維持管理

## 月島メンテナンス株式会社

取締役社長 吉澤 信一

(16回生)

〒104 東京都中央区月島 4-8-14

TEL 03-533-6271

神奈川歯科大学教授

常務理事 門脇 稔 (25回生)

自宅/神奈川県逗子市山の根2-6-3 ☎(0468)72-1213

圧縮空気除湿装置

吸着精製装置

**AUTO-PUREX**



**丸谷化工機株式会社**

代表取締役社長 山本 高敬 (25回生)

〒100 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル

## 壺坂電機株式会社

代表取締役 壺坂 博文  
艶子 (28回生)

〒192 東京都八王子市石川町1683-1

☎ (0426) 46-1127 (代) FAX 46-1834



**公立教育研究会**

取締役  
教育上幹

岩谷 清水

(27回生)

東京都千代田区五番町3番1号 〒102

五番町グランドビル

電話03-234-4651 (代)

大阪市淀川区西中島5丁目6番6号 〒532

公文教育会館

電話06-304-7611 (代)



**くもん出版**

株式会社 **くもん出版**

代表取締役社長

中城 正堯

東京都千代田区三崎町3-6-9 〒101

日通千代田ビル

TEL (03) 239-1427 (直) (03) 234-4001 (代)



東海支社長 小笠原 博幸 (29回生)

〒460 名古屋市中区錦 2-17-21

電話 (052) 204-4500

情報から活力をうみだすバリュー・クリエイター

**NTTデータ通信株式会社**

リクルートホテルグループ



晴海グランドホテル 03 (533) 7111

川崎グランドホテル 044 (244) 2111

芝グランドプラザ 03 (434) 5761

顧問 溝渕 真清 (32回生)

Management &amp; Systems Consultants

株式会社 システムズ プランニング

代表取締役 小 倉 璋  
(32回生)本 社 東京都新宿区本町四丁目4番地4 祥平館別館  
〒160 電 話 03 (351) 0351  
大 阪 大阪市淀川区西中島3丁目18番21号 南楼ビル3F  
事務所 〒532 電 話 06 (306) 5636

日章造園株式会社

代表取締役社長 千 原 望 (33回生)

代表取締役相談役 澤 村 良 節 (33回生)

東京都目黒区下目黒3丁目8番5号 〒153  
Tel. 03-716-3221 / Fax. 03-716-3226

リクルート人材センター

社 長 溝渕 真清 (32回生)  
岡村 靖子 (57回生)労働大臣許可13コサツモ0001号  
東京都港区西新橋1-10-2  
リクルート西新橋ビル 〒105  
電話 03 (508) 9141 (代表)  
新宿 / 横浜 / 神田  
名古屋 / 梅田  
豊波 / 神戸メガネ、コンタクト、補聴器のことなら  
何でもご相談下さい。

世界一のメガネ店と松下幸之助氏激賞ノ

全国50店舗 **富士メガネ** 大手町店取締役店長 窪 田 秀 忠  
(38回生)千代田区大手町1-6-1 大手町ビル  
TEL 03-214-4751 日曜日(休み)弁護士 浅井 和子  
(35回生)〒102  
東京都千代田区麹町4-7-2  
直江・浅井・法律事務所 TEL (221) 8831  
FAX (222) 0181

株式会社日本テクナート

(株)日本アステック (株)フェイス

代表取締役 小 島 三 郎 (40回生)

取締役営業部長 門 田 健 一 (43回生)

技術部主任 島 内 聡 (53回生)

本部 〒168 杉並区和泉4-42-32  
TEL 03 (313) 7251 代表

東京相和銀行

矢川特別出張所

所 長 堀 見 淳 二  
(42回)国立市富士見台4丁目5番1号  
電 話 0425 (73) 3091 番  
FAX 0425 (75) 6438 番  
郵便番号 186

坂本歯科医院 矯正歯科

坂 本 隆  
(42回生)〒211 川崎市中原区小杉町3-441  
(東横線武蔵小杉駅前)  
(電) 044-7 11-8 148

住まいの情報センター

ミツワ ホーム サービス

代表取締役 中 屋 隆 彦 (41回生)

〒151 東京都渋谷区幡ヶ谷2-13-1 平沼ビル・幡ヶ谷北口駅前  
TEL (03) 320-0320 FAX (03) 378-7097

## 思い出の先生方⑧ 大嶋光次先生

(昭和33年  
ご逝去)

## 知られざることなど

次男・大嶋 邁  
土佐塾高校校長

彼(故人光次)は生前自分の出自等々、過ぎし事はあまり他人様に語る事を好まなかったようですが、家庭では夕餉の酒の肴に子供達に『語部』然として、いろいろの話の中で時折話したものでした。

自作農の八人兄弟姉妹の次男として誕生、八才にして村の祭で酒を呑み過ぎ、川に落ちて危うく命を落とすところ生涯酒をこよなく愛した性癖は三つ子の魂によるものか。

私の幼時の記憶に、彼が酩酊のあまり田舎道脇の肥壺に落ち糞尿譚そのものの姿で帰宅したという事がある。人集めをして酒を呑むことを好み、私の中学時代など試験中でも欄外をやらされ文句をいうと「勉強などは平素しておくもんだ」と大見得をきる。

彼の小学時代、地元新聞に『難解な算術をことごとくやつてのける天才少年現わる』という記事になった事が自慢の一つ。この件になるとお前

達とは違うんだぞと異様に力が入る。こちらは昔の新聞はつまらぬ記事を書いたものだと驚いて拝聴する。小学校を卒業し「農家の小倅には学問は不要」と農事に携わることをなるも、向学の念止み難く隣村の高等小学校の理科の実験道具に魅せられ、越境入学の手立てとして籍を移して入学するが、入籍先の義父が急死、生涯大嶋の姓を名乗る羽目となる。

その後、小学校の代用教員生活数年に及ぶも、青雲の志止み難く幾許かの金を懐に上京。旅中の船にて博奕打ちの輩と友になり何事かやらかしたらしいが、勝敗は語らざるが故、不明。彼は生米勝負事を好み、幼にして軍鶏を飼い郡中を勝負して徘徊したと聞く。

上京後、理数の学を青少年に普及する事が日本近代化の緊急かつ根本的な課題であり、単に裕富の家庭の学生達のみ

に学を授けるを心よしとしないう、東京大学、蔵前高等工業(現東工大)の少壮学者達が開いた学校(とはいっても最初はどうん屋の二階。後に東京物理学校、現東京理科大学)に入学(入塾)。極めて厳しい理数の学の鍛錬を受け、

「同時入学者のうち落第の災厄を被らざる者三名。俺はそのうちの一人だ」というのが自慢。これがでたらもう一本燭をしなければならぬ。苦学して卒業してもライセンズは何もない。理数の教員国家試験を突破しなくてはならない。

在学中はアルバイトをもって生を養っていたらしいが、数学を生かせるということでは先生のお世話で通信省保険課で簡易保険の研究立案に携わる。その課長の下村海南(後に、企画庁長官、朝日の論説委員)がドイツ留学を命ぜられ随行として彼を連れていくことにした。彼は言下に断わ

って曰く。「自分は青少年に理数の学を教えることを使命とする。こと志と異なる事はない」と。海南氏曰く「お前の志は良いが、やつても田舎の中学の校長がオチだ」と。言は的中した。数十年前、海南氏が長官として江川崎から

高知県入りした。中村町のお偉方の伴をして彼(当時中村中学校長)も出迎え名刺を出す。「おお、あのお前か。俺の言ったとおりになったのお」このエピソードを話す時、彼は極めて満足げであった。

彼は教育者として教養や見識があつた人物ではなかった。一介の数学の徒でしかなかった。唯、目前のやるべき事には勤勉な農民魂をもって挑んだだけの人間であつた。酒と碁を好んだが、案外秋風に都山流の尺八を吹き、寒中に宝生流の謡曲をうたい、人生を楽しむ術も心得ていたようである。

また、晩年よく聞かされたことに「教育は私学でなくては真の教育にならない。そして教育は二十年先が勝負だ。今やれる事は自分の信念に遵う教育しかないのだ」と。極めて変則な教育を受け、そのために「私学とは何か」(彼の場合は「私塾とは何か」に近いだろう)を案外深く思索し、生涯の信念として胸中に秘めていたのかも知れない。

明治三十八年撮影

十六才で上京された頃

左端が大嶋光次先生

中央が安藤清一先生(物理)



“子供たちが危い”と表現される時代になってきました。心身ともに「健全」な成長がしにくい様です。「シヨウ育てにくい時代になったもんじやネヤ」と言いたくなります。何が「健全」かは論ずるスペースも、或は能力(?)もありませんが、この八月の大部分の「健太君事件」のような行動をとりかねない少年達が増えているという実感はあります。今は影を潜めている校内暴力も又、形をかえてくるだろうと思わずにはいられません。

かく言う私、教護院という土佐中や諸先輩方には全く縁のない非行少年の収容施設で働いているものですから「オンシヤ変ったことをしゅうけ書いてミイヤ」という事で筆をとる破目になった者です。

収容施設といっても少年院と違って扉も鍵もありません。何しろ公務員なのですが勤務時間もないのですから……事務室を挟んで、八畳三間、十二畳のホール等の生徒用の居室と3DKの職員用居室が同じ屋根の下にある訳です。これを「小舎制」といいます。

ここに家族ともども住み込み、寮長である小生と寮母である愚妻が二四時間通して生活指導を行います。これが「夫婦制」と呼ばれるものです。この様な「夫婦小舎制」の寮に様々な問題行動の少年達が入園してきます。家出、浮浪、窃盗、シンナー、性的非行、オートバイの無免許や暴走、或いは恐喝や傷害等々です。最近では家庭内暴力や登校拒否なども多くなってきました。

## 『夫婦小舎制』

——非行少年、少女たちとの生活——

埼玉学園寮長 吉岡 一孝(41回)

その入園理由と生育歴を見ていると社会の縮図といった感を感じます。「教育」と「福祉」の谷間とも言われます。生い立ちや境遇に恵まれなかったり、適切な養育を受けられなかった子供達の非行性や反社会性をとり除き、「教護」するのが我が埼玉学園です。昔は「感化院」と呼ばれました。

上野から高崎線で三五分、大宮から二つ目が上尾です。そうです。十年前に甲子園で

対戦した上尾高校のある市です。あの時は敵陣の中に只一人という感じで職員室のテレビを観たものです。

話が若干脱線しましたが、この上尾の一万三千坪の土地に十ヶ寮があり、現在七二名の子供達が男子寮六ヶ寮、女子寮二ヶ寮に分れて生活しています。他に炊事棟や体育館、プール、グラウンド、畑、及び学校があり、院内で学習指導を行います。

私は最初の四年間は通勤の学習指導員でした。土佐高時

代に政岡先生に鍛えていただいた剣道を教えたこともありまます。それから養護施設のボランティア活動で知り合った山の神を「洗濯と繕いをやっていれば良い」と言い含めて寮の担当になり九十二年になった訳です。

この間多くの少年達が我が寮を巣立って行きました。ベシキ屋や植木屋で頑張ったり、定時制高校を出て大学の二部に進んだり、公務員になった者のいる一方で、テキ屋になっ



たり、小指を切られて糸がついたまま逃げて来た者もいるのが正直な現実です。

十七年目の今年、女子寮の担当になりました。今トンスラ中の二名も含めて八名全員が幼く、未熟な心理傾向でありながら、シンナーと性の経験があります。この様な子供たちの好ましい感情転移のためにも今暫くは「夫婦小舎制」の寮長として、「生垣の中の彷徨える面々」と共に生活したいと考えています。

様々の由にて来たしこの子らの心に触るる歎び哀しみ

故なしやありやとまどわむ明るきはかまけ許さじ我が日々の糧

故郷を題にし作文書きし子の幼きころは哀しかりけり

幾人が我とおくりし生活のことを生かして今いきるかな

## 同期会

## ●30回 浅井 伴泰

卒業三五周年同期会を七月二八日に高知サンライズホテルで開きました。松浦、山下、西内(英語)、古谷、町田先生をお招きし、全国各地から約百名が集り旧交を温めました。前日、馬路村村長(二期目)に当選した西野真司君のタイミングの良いお祝いの宴にもなりました。猛暑の中黒潮カントリで行われたゴルフには女性三名を含む二八名が参加。上位をお医者様が独占。やれんよ!!

## 筆山会だより

## ●第19回筆山会ゴルフ

10月18日、葉山国際C.C.。参加者27名。中村明裕氏(35回)が初優勝、初参加の紅一点大和田洋子氏(39回)が準優勝した。

|             |     |    |    |   |    |   |
|-------------|-----|----|----|---|----|---|
| ①中村 明裕(35)  | G   | 95 | 22 | H | 73 | N |
| ②大和田 洋子(39) | 108 | 36 | 72 |   |    |   |
| ③岡崎 昌生(23)  | 102 | 28 | 74 |   |    |   |
| ④秦 道大(33)   | 86  | 12 | 74 |   |    |   |
| ⑤中島 宏(38)   | 85  | 10 | 75 |   |    |   |
| B G 中島宏(38) | 41  | 44 | 85 |   |    |   |

## 〔その他の参加者〕

|       |         |       |
|-------|---------|-------|
| 5 北岡  | 9 中尾    | 16 吉沢 |
| 21 宮地 | 24 山中   | 25 野沢 |
| 30 鍋島 | 30 新階   | 30 阿部 |
| 31 松本 | 31 吉野   | 32 浜崎 |
| 33 宮川 | 33 小松   | 33 池添 |
| 33 竹田 | 33 高島   | 37 竹内 |
| 37 橋田 | 38 窪田   | 38 三宅 |
| 41 小松 | (数字は回生) |       |

次回は20回記念大会として  
神奈川県・レインボウC.C.で  
来年五月十六日に行う予定。

## 近況報告

## ●20回 竹村照雄

平成元年四月定年により三八年にわたる検察官生活を終え、弁護士となり目下修業中です。世の中に法に触れる人達があり、ごたごた争いを起こす人々がいるお陰で生業を得、生計をたてることができるといふ実感を経験し、人生観が変わりました。そういう人達の為に何をなすべきか、みんなが助け合い励まし合う生き方を求めることによって、法曹としての仕上がりできればと願っています。

専門は一応、刑事事件(皆さんには御縁がありませんが、

## 甚田先生 歳時記②

昭和30年5月11日

田内 瑞穂 先生

のんびりと晴耕雨読の真似事をしてる私の畑に沿って、JRの土讃線が走っている。時折やってくる列車のすざましい轟音聞くと、あの学芸高校旅行団の上海列車事故を思い出し、私は身も心も凍るような思いがする。それと言うのも、かつて土佐中の旅行団も紫雲丸事件という大惨事に危うく巻き込まれるところだったからである。

あれは昭和三十年の事であった。中三の修学旅行団約三百名は奈良京都の旅に心を躍らせて、出発日の五月十一日を心待ちにしていた。ところが出発直前になって、交通公社から「連絡船が満席の為、室戸廻りの外洋航路に予定を

変更してくれ」と要請を受けた。「今頃になって」と我々は不満ではあったが従わざるを得なかった。ところが、五月十一日の朝、高松港外に大惨事が起こった。我々の乗船予定の連絡船「紫雲丸」が貨物船と衝突、数百名の乗客と共に一瞬の間に沈没したのである。南海中学の修学旅行団は二八名の犠牲者を出したという。新聞号外は紙面いっぱい船と共に沈んで行く中学生の写真を載せた。土佐中の旅行団のショックは大きく、旅行取り止めの申し出が続出した。慌てた我々は「君達が一人でも海に居る間は、我々教師は断じて救命ボートには乗らぬ」と大見得を切った。之が効を奏したのか、

か、やっと予定全員が参加した。数日後高知港を出航した。そして太平洋を泳ぐことななく無事修学旅行を終え、帰途は宇高連絡船に乗った。小雨の降る海を渡って、船が女木島のほとりに来ると、海には黒油が漂い、海底には微かに黒い大きな影が横たわっているのが見えた。小雨の中に船の汽笛は長く尾を引き、我々旅行団は花束を投じて、不運だった中学生の霊に捧げた。まるで自分自身を吊っている様に覚えた。



被害者になられたら相談して下さい」ですが、国際化時代にあたり外国人の入国・在留に関する相談も多くなりまし。第二の人生というよりは新たな充実した人生を歩みつつあるというところです。

## ●25回 門脇 稔

八月は三日から米国 California, Berkeley GARMSTRONG 大学で集中講義、十一日から中国・遼寧省瀋陽市(旧奉天)に四十名の歯科医師団を率いて診療の国際学術交流、二十一日からは北欧 Scandinavia 四ヶ国の大学教育・研究の視察と討議、また十月は十七日からソ連 MOSCOW 市での国際家庭団体連盟総会に日本代表団々長として出席し、問題提起と討論、そして「Je-m'engage」に寄って昨二十六日夕方帰国した。同級生仲間では定年の話もある中で有難いことと忙しさに感謝している。

さて、以上の国々また所、場所、それぞれに言葉や文化の背景は違うものの「人間は同じ、世界は一つ」ということをどこでも実感した。ベルリンの壁が破れて以来、世界が大きく変わろうとしている。EC諸国は再来年からは国境がなくなる。二十一世紀の新

たな秩序の構築を世界が模索している。「イラク問題」は国際化が本物になるかどうかの試金石である。物質文明の繁栄の代償としてもたらされたオゾン層の破壊、慢性的な食料不足などはもはや国単位では解決できない。

今こそ人類的視野にたつて地球の全人間の協調と繁栄に貢献できる大いなる教養人が求められているのである。土佐中・高の教育にそれを期待したい。

## ●28回 福本 栄子

(柳村)

土佐高を卒業して三十数年、結婚してやはり三十年以上。生まれた娘もいい年になったのに頭張って家に居ましたが、やっと去年重い腰を上げて結婚しました。お陰様でやっと老夫婦？二人だけの静かな毎日となり、私は心置きなく好きなゴルフを楽しんでいます。時々、後何年出来るかしらと思いつながら、ゴルフが出来るのは元気な証拠と朝早くから車を駆ってコースに出かけます。緑の芝生の上を歩きながらウグイスの声を聞き、色々な花木や草花を鑑賞しながらプレーするのが最大の楽しみです。そのうち一度筆山会の新

コンペには是非参加させていたきたいと思っています。

## ●31回 島崎 睦美

(森下)

横浜市が行っている乳幼児育児相談(電話)の仕事に携わって六年になる。親(主に母親)と子の様々な問題に出会ってきた。

授乳・離乳食・生活リズム等、一般的な相談が大半を占めているが、最近、母自身の



心の悩みを訴えてくるケースが増えていく。下の子はかわいいが上の子はいがれなるとか、子育てに自信が持てないとか――。

子供は健やかに育っているのに育児不安が強い母親の話の多い。然し、彼女にとつて「夫」はどのような存在なのだろうとフト思う。子育て

の問題の奥には、夫と妻の問題が潜んでいるように思える。相談電話(045-711-1154)

## ●39回 北村 文典

東宝(株)演劇部に所属しており、平成三年三月帝国劇場で『桜月記』の演出をします。

この作品は海千山千の芸人達を細腕一本でまとめあげ、笑いの王国・吉本興業を築き上げた一人の女、『興行師 吉本せい』の話です。森光子の主演で他に田村高廣、赤木春恵、林与一などが出演します。私の方こそ海千山千の役者達をどうまとめあげるか、これからの苦労が始まります。

## ●42回 山本 博也

「お父さんはまだ大学がはじまっていけないので、家で本を読んだり、げんこうを書いたりしています」とは、小学校二年生の娘の作文の一節。九月になっても昼間っから家にいて、遊びに来た娘の友達にいぶかしがられながら、やっていった事といえば、「源頼朝」「本領安堵」「御家人」によってあやなされた、八百年前の歴史の一面面を垣間見ようという、何とも迂遠な事柄。何が見えたからといって毒にも薬にもならない。生活が便利になればなるだけ環境汚染

の進む現代。毒にならないだけでも御の字か。いやいや瓢箪から駒が出ないとも限らぬとうそぶきながら、土佐の高く青き「空にすわれし十五の心」を懐かしんでいます。

## ●55回 佐々木正清

二年ぶりで訪れた北京はアジア大会を一月後に控え、新築の高層ホテルと様々な飾り付けで街全体が花壇の様に華やいでいた。その北京を後に親友に会うためにハルピンを訪れた。彼は二七才の放射線科医師で、海外移住を希望して日本や欧米の大学に採用依頼の手紙を出し続けているが色よい返事は一通も返っていない。相談を受けたが如違いのことで、先輩方の中で力になつて頂ける方がいらつしやれば御連絡下さい。

ハルピンを去る日の朝、彼の二才の娘が無邪気に手を振っていた。中国は果して彼女達の将来に幸福をもたらすだろうかと考えているうちに、この国の抱える問題は実は日本と共通ではないのかと思わずにはいられなくなった。自分自身のためにも我々はずとアジアに目を向けるべきではないだろうか。

## 編集後記

◇関東支部ただおひとりの一回生、島野広先輩がこの九月にお亡くなりになられました。同窓会に出席されて、卒業したばかりの曾孫のような美女たちと肩組みあっておられた笑顔が、もう拝見できなくなつたのは残念で寂しい限りです。心よりご冥福をお祈り申し上げます。(F)

◇昨春秋に新編集部がスタートして早くも一年。三号目(通算十一号)の発行にこぎつけ一安心。

誌面作りのモットーは「国際化と大勢の同窓生の参加」。「風のたより」等の充実に見る如く、成果はまずまずのところ。自画自賛。(編集長)

◇今年の夏は暑かった。流した汗も多かった。故タコ先生の教え「毎日汗を流さんといかん」を守ったら痩せこけた。秋深まり徒然草の気分です。と「原稿は〇日までですき」とF氏から電話。受話器を20センチ離してもよく響く。土佐人はなぜか声が大きい。原稿遅れのわびを入れると「来んき広告を入れました。皆楽天下ですき」とI氏。土佐人は声も太いが心も太い?(S)

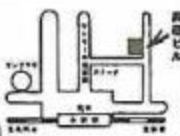
有限会社 さんふらわあ商事

代表取締役 瀬川和聲  
(33回生)

〒164 東京都中野区中野5-59-1興産ビル

- パブスナック さんふらわあ ☎388-9576 PM 7:00~AM 1:00
- パブ スリーエイト ☎389-9348 PM 7:00~AM 3:00
- パブラウンジ ピア ☎388-2506 PM 7:00~PM 12:00

— 日曜日は定休日です —



SEIKO 山下成子 (32回生)

大阪におこしの節は  
ぜひお立ち寄り下さい。  
お待ちしております。

大阪市北区曽根崎新地1-2-12 タチバナビル  
TEL (06)341-8220

いごっそう

東京都港区六本木4-12-7

八森ビル4F

☎03(405)0152-0159

いごっそう本店

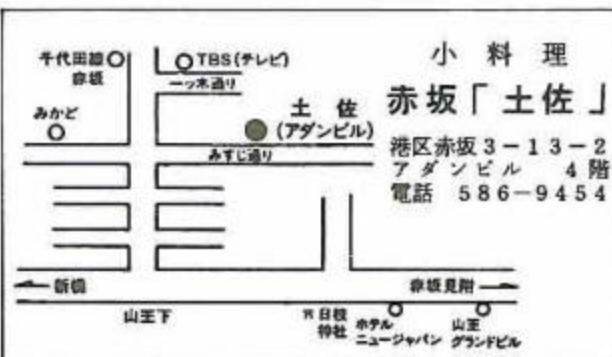
高知市追手筋1-10-19  
0888-22-1213



くじら刺 1000円  
くじらたたき 2000円  
かつおたたき 780円

新宿区歌舞伎町2-41-12 川井ビル  
TEL 03(209)0145

土佐へ来てみい

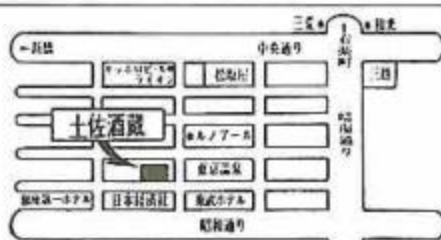


都会の中の小さな土佐

土佐料理 土佐酒蔵

〒104 東京都中央区銀座7-6-8(西五番街) ☎572-9640

- 赤坂店(赤坂みすじ通り) ☎585-9640
- 新宿店(新宿住友三角ビル) ☎344-6585
- 渋谷店(シオノギ渋谷ビル) ☎407-9640
- 麹町店(新宿野村ビル) ☎348-2727
- 加賀島(新宿住友三角ビル) ☎345-0881



季節のふるさとの味

銀座7-12-4 サンリード地所  
電545-3855 銀座第一ホテル通り

土佐酒蔵